

科目名：認知症の理解Ⅱ

対象クラス(専攻/コース)：2学年 介護福祉学科

単位数：1

担当教員名：福島岳志

授業形態：講義・演習（全15回）

教材：最新介護福祉士養成講座13 認知症の理解 中央法規出版株式会社

※配布資料・スマートフォン・タブレット端末なども活用する。

教員の実務経験：介護保険施設・在宅介護事業所にて介護職（介護福祉士）として10年間経験

授業内容（実務経験を活かした指導内容）：

介護現場において様々な認知症に対応した認知症ケアの実践を行い、認知症ケア学会などにおける研究などの経験を活かし、下記の学習目的が達成できるように授業を実施していく。

学習目的 認知症の人を中心に据え、本人や家族、地域の力を活かした認知症ケアについて理解するための基礎的な知識を習得する学習とする。

授業内容

- ①その人の特性を踏まえたアセスメントを行い、本人主体の理念に基づいた認知症ケアの実践につながる内容とする。
- ②認知症の人の生活を地域で支えるサポート体制や、多職種連携・協働による支援の基礎的な知識を理解する内容とする。
- ③認知症の人を支える家族の課題について理解し、家族の受容段階や介護力に応じた支援につながる内容とする。

到達目標：

- (1) 認知症ケアの実際と認知症の人への様々な関わりについて理解する。
 - (2) 地域におけるサポート体制や多職種連携と協働について理解する。
 - (3) 認知症の人を介護する家族の状況と家族への支援について理解する。
- (重要) 本学習は「認知症の理解Ⅰ」の内容を土台とし、応用的な学習を行っていく。

評価方法／基準：

授業態度（出欠席・姿勢・提出物・使用物品の準備など）、確認テスト・総まとめ試験などの結果を総合的に評価する。（総まとめ試験 70% 確認 10% 授業態度 20%）

※総まとめ試験は60点以上を合格とする。（国家試験合格の確実性を高める為には、80%以上の正答率が必要であり常に80点以上を目標に学習に取り組むこと）

その他、注意事項：

授業を円滑に行うと共に質の高い学習とするために、以下の点について留意すること。

1、事前学習

毎回の授業前に、授業範囲のページに目を通しておくこと。課題が出た場合は課題を行っておくこと。

2、事後学習

毎回の授業内容・確認テストを再確認（復習）し、理解を深めておくこと。

課題やレポートの提出を指示した場合は、作成し指定期間までに提出すること。

関連する主な検定試験：介護福祉士国家試験

キーワード：認知症、アプローチ、環境、家族支援、介護福祉職支援、制度、サービス、
機関、地域づくり、多職種連携、各種ケア

<授業計画>

第1週	パーソン・センタード・ケア（テキストP140～147）	講義・確認テスト
第2週	認知症の人の理解と認知症の人の特性をふまえたアセスメント・ツール1 （テキストP149～161）	講義
第3週	認知症の人の理解と認知症の人の特性をふまえたアセスメント・ツール2 （テキストP161～179）	講義・確認テスト
第4週	認知症の人とのコミュニケーション（テキストP181～187）	講義・確認テスト
第5週	認知症の人へのケア1（テキストP188～204）	講義
第6週	認知症の人へのケア2（テキストP204～216）	講義・確認テスト
第7週	認知症の人へのさまざまなアプローチ1（テキストP217～230）	講義
第8週	認知症の人へのさまざまなアプローチ2（テキストP231～236）	講義・確認テスト
第9週	認知症の人の終末期医療と介護（テキストP237～243）	講義・確認テスト
第10週	環境づくり（テキストP245～255）	講義・確認テスト
第11週	家族への支援（テキストP258～275）	講義・確認テスト
第12週	介護福祉職への支援（テキストP277～290）	講義・確認テスト
第13週	制度、サービス、機関、地域づくり（テキストP294～305）	講義・確認テスト
第14週	多職種連携と協働（テキストP306～322）	講義・確認テスト
第15週	総まとめ（第1週～14週までの内容）	試験・解説

（注釈）

授業計画については、学生の知識の定着・習熟度などにより変更する場合があります。